

科目名	教育分野に関する理論と支援の展開	副題	
担当者	渡邊 由己		
開講期	前期	単位数	2単位
		配当年次	1年次
授業の概要	<p>テーマは教育分野に関わる公認心理師の実践である。学校内での対人関係困難等の学校不適応、不登校傾向、学業困難やいじめ、ハラスメント、ひきこもり等の問題に関わる理論の獲得と、心理支援の展開について、スクールカウンセリングから大学学生相談まで含めて理解する。さらに学校内の相談室、教育センター、各種教育相談機関等において、本人との面接、保護者との面接、教員へのコンサルテーション、必要に応じた他機関との連携支援活動等、教育分野に関する広汎な支援の実践についても理解を深める。</p>		
授業のねらい・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場をめぐる臨床心理学的課題について理解し説明出来る ・いじめ、ハラスメントに対する心理支援の実践を理解し説明出来る ・学業困難、進路未決定に対する心理支援の実践を理解し説明出来る。 ・不登校、ひきこもりに対する心理支援の実践を理解し説明出来る ・心理支援における教員や保護者、他機関との連携に関する実践を理解し説明出来る 		
授業の方法・授業計画			
1	授業オリエンテーション：授業概要、到達目標、授業の進め方		
2	教育現場における臨床心理学的課題		
3	いじめをめぐる心理支援の実践		
4	キャンパス・ハラスメントをめぐる心理支援の実践		
5	生徒の学業困難に関する心理支援の実践		
6	大学生の学習支援に関する心理支援の実践		
7	進路選択に関連した心理支援の実践		
8	大学生のキャリア探索をめぐる心理支援の実践		
9	不登校生徒に対する心理支援の実践		
10	青年期ひきこもりに対する心理支援の実践		
11	スクールカウンセリング、学生相談の役割と実際		
12	教育センターなど外部教育支援機関における心理支援の役割と実際		
13	教員や保護者との連携・協働による心理支援の実践		
14	教育分野における心理支援の課題		
15	全体のまとめ		
期末	レポート		
授業に関する連絡	「でんでんぱん」の通知機能を利用しておこなう。		
評価方法及び評価基準	期末レポート（60%）、授業中の課題等への取り組み（40%）で総合的に判断する。		
事前・事後学習の内容	毎回の授業で具体的に説明する。事前・事後合わせて2時間の学習を求める。		
履修上の注意			
テキスト	特に使用しない。授業中に資料を配布する。		
参考文献	授業中に適宜紹介する。		